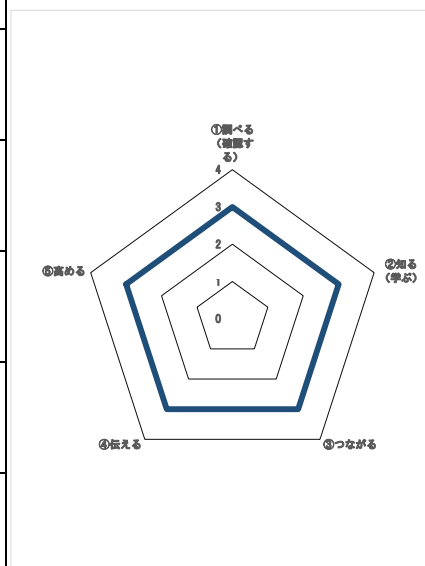


# 若草小学校区

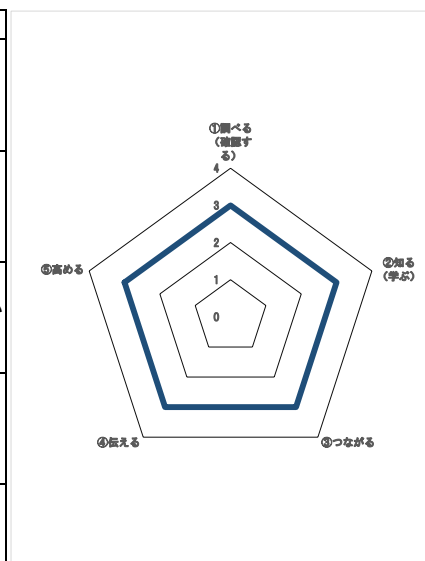
校区活動(きずな推進委員会、住民座談会)

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる(確認する)	○校区の実態を確認することができたか ・住民座談会や校区推進委員会等の意見交換を通じた地域の状況を共有することができた。	3	・住民座談会や校区推進委員会で、普段関わることの少ない方にも参加してもらうことが必要。
②知る(学ぶ)	○知る・学ぶ機会を設けることができたか ・住民座談会では、「外出困難な高齢・障がい者を支援するために必要なこと」をテーマに今後、校区で必要とされる支援について意見交換した。 ・意見の中では、「普段から関わりがある近隣の学校を巻き込んで授業の一環として取り組みを行う」といった意見があった。	3	・参加者同士実りのある意見交換を行えた。30年度は出た意見を参考に支援体制をカタチづくっていきたい。
③つながる	○関係する団体等との程度つながることができたか ・校区内の実践者が、みなカフェ(特養わかぐさ)やちよこつと茶屋(コープさっぽろ)を通し、地域包括支援センターけいあいと現在も繋がっている。 また、一部の町内会では、「児童発達支援・放課後デイサービス とらい」と繋がっており、町内会の活動に「とらい」も参加しながら行っている。	3	・校区内の専門機関とも密に連携し、様々な機関を巻き込みながら推進していききたい。
④伝える	○どのくらいきずなを伝えることができたか 住民座談会等を通してきずなを伝えることができたが、参加した人だけにとどまっている。	3	・今後も校区に浸透させていけるよう広く対象者が集まる場で周知を図る。
⑤高める	○地域をよりよくすることにつながったか ・きずな推進委員会や住民座談会を通して、地域の課題を共有し、解決に向けた意見を行うことで、福祉意識を高めることにつながっている。 ・住民座談会では、今後の福祉活動の参考となる意見がたくさん出た。	3	・普段、きずなに関わっていない人にも参加してもらえるように声をかけていきたい。



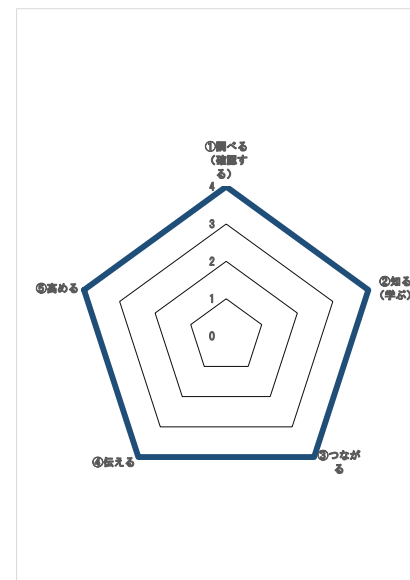
日頃からの見守り・訪問・声かけの推進(小地域ネットワーク活動)

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる(確認する)	○校区の実態を確認することができたか ・H29年度は、新規で1町内会が小地域の活動に参加した。よって、7町内会中6町内会が参加している状況である。	3	・H30年度は、全町内会が実施するよう小地域の推進を行なっていききたい。
②知る(学ぶ)	○知る・学ぶ機会を設けることができたか ・住民座談会を通して、小地域の実施状況や目的などを参加者が学ぶことができた。	3	・H30年度も引き続き、推進委員会や座談会などで紹介していききたい。
③つながる	○関係する団体等との程度つながることができたか ・小地域を行うことで、日頃から顔繋ぎができています。	3	・実施町内会についても新しく見守りが必要な世帯が無い確認しながら推進していききたい。
④伝える	○どのくらいきずなを伝えることができたか ・実施町内会で小地域の活動を説明する中できずなを伝えることができた。	3	・未実施町内会に対しても小地域の推進を行うと共にきずなの推進を行なっていききたい。
⑤高める	○地域をよりよくすることにつながったか ・対象者と関わる中で、対象者が抱える課題なども見えてくる。 地域の中での課題把握を行う上でとても重要な活動となっている。	3	・H30年度も引き続き行なっていききたい。



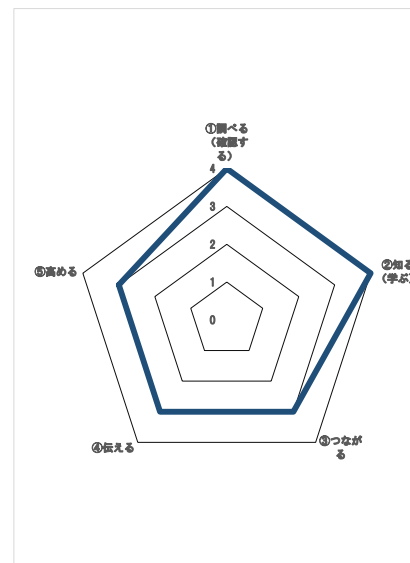
居場所・相談・つながりづくりの推進(ふれあいいきいきサロン、ふれあい会食会)

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる (確認する)	○校区の実態を確認することができたか ・会食会は全町内会で実施。いきいきサロンは、既存のサロンで継続して活動している。	4	・地域の中で、気になる人をサロンに参加してもらえるよう活動していきたい。
②知る (学ぶ)	○知る・学ぶ機会を設けることができたか ・各サロンを運営する中で、地域との関わりが少ない住民と関わることができた。 サロン活動の中で、参加者から普段の生活のお話を聞くことが出来ている。	4	・引き続き継続して行いたい。 ・他町内会の活動を共有する場を設け、相乗効果を図る。
③つながる	○関係する団体等との程度つながることができたか ・会食会を通して、地域で見守りが必要な高齢者と繋がることができた。 また、会場まで来れない方に、会食会のお弁当をお宅へ届けに行くことなどにより見守り活動に繋がっている。	4	・引き続き継続して行いたい。 ・サロンや会食会で発見した課題などを専門機関につなげていく。
④伝える	○どのくらいきずなを伝えることができたか ・通常のサロン活動や会食会を通して、参加者に伝えることができた。	4	・引き続き継続して行いたい。
⑤高める	○地域をよりよくすることにつながったか ・サロンや会食会を通じた見守り活動、場合によっては相談を聞くことも出来ている為、地域福祉をより良いものにする為には役割が大きい。	4	・引き続き継続して行いたい。



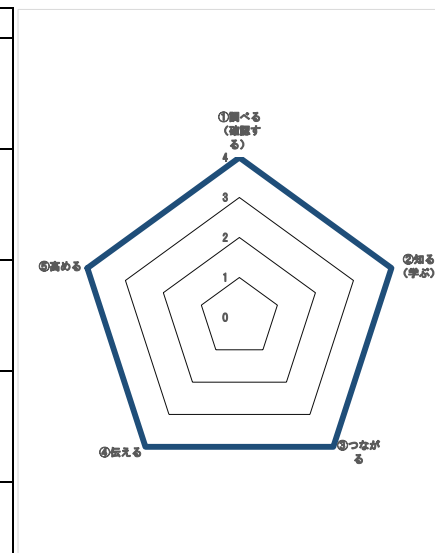
防災活動(普及啓発、避難訓練)

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる (確認する)	○校区の実態を確認することができたか ・避難訓練を通して、地域の防災意識の状況を確認することができた。	4	・普段、避難訓練や町内会行事に出ない住民に参加してもらえるように呼び掛け等を行なっていきたい。
②知る (学ぶ)	○知る・学ぶ機会を設けることができたか ・避難訓練を通して地域の防災意識を確認することが出来た。	4	・引き続き継続して行いたい。
③つながる	○関係する団体等との程度つながることができたか ・避難訓練等を通して住民同士の顔の繋がりが出来たが、毎年健康な人の参加が多かった。 今年も、一部の町内会の避難訓練に視力障がいの方にも参加してもらうことができた。	3	・障がいや高齢(要支援者など)の方にも積極的に参加してもらえるような取り組みや呼びかけを行なっていきたい。
④伝える	○どのくらいきずなを伝えることができたか ・防災活動を通じた地域とのネットワークづくりを行なえた。	3	・引き続き継続して行いたい。
⑤高める	○地域をよりよくすることにつながったか ・避難訓練を実施することにより、地域住民同士の顔の繋がりが増えた。	3	・引き続き継続して行いたい。



### 高齢者支援(軽微な生活支援)

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる (確認する)	○校区の実態を確認することができたか ・鍵預かりサービス事業を通して地域の独居高齢者の状況を確認することができた。(利用者数4名)	4	・引き続き継続して行いたい。
②知る (学ぶ)	○知る・学ぶ機会を設けることができたか ・鍵預かり事業や住民座談会を通して地域の状況を確認することができた。	4	・住民座談会を通して話し合われた意見を参考に今後の活動に活かしていきたい。
③つながる	○関係する団体等との程度つながることができたか ・鍵預かりサービス事業を通して、特養わかさや民生委員などと連携して行うことができた。	4	・いざという時スムーズに行動できるよう備えたい。
④伝える	○どのくらいきずなを伝えることができたか ・鍵の預かり事業の協力者を通じて、利用者に対しきずな情報提供を図った。 ・住民座談会の中でも伝えることが出来た。	4	・町内会や老人クラブなどでPRを図る。
⑤高める	○地域をよりよくすることにつながったか ・独居高齢者のいざという時、また、鍵の預かりを通じた日頃の見守りが出来た為、この事業を行う役割は大きい。	4	・引き続き継続して行いたい。



### 校区きずな推進委員会 委員

リーダー	南 行雄	きずな推進委員	境 幸子	きずな推進委員	中島 康晴
サブリーダー	伊藤 秀男	きずな推進委員	星 康彦	校区きずな推進委員	伊藤 修二
サブリーダー	松川 陽子	きずな推進委員	堀川千恵子	校区きずな推進委員	相馬 眷三
きずな推進委員	森田 只志	きずな推進委員	植田 正子	校区きずな推進委員	長内 正二
きずな推進委員	高橋 正子	きずな推進委員	関 國男	校区きずな推進委員	西村 孝夫
きずな推進委員	西村美代子				

1. 校区活動

時期	名称	人数	内容
2月21日	若草小学校区きずなリーダー・サブリーダー会議	4名	住民座談会の内容について
3月23日	若草小学校区住民座談会	21名	「きずな」とは 「助け合い」が必要な背景(高齢者編) 「のほりべつ」の今とこれから 「きずな」事業(生活支援編) 意見交換「外出困難な高齢・障がい者を支援するために必要なこと」

2. 日頃からの見守り・訪問・声かけ(小地域ネットワーク活動)

若草町内会	旭ヶ丘町内会
若草第二町内会	美園町会
美園南町内会	桜ヶ丘町会

実施率 85.7% ( 6 / 7 )

3. 居場所・相談・つながりづくりの推進(ふれあいいきいきサロン、ふれあい会食会)

ふれあいいきいきサロン

若草町いきいきサロン	いちにのさん	みんなでいきいき
いきいきサロンM・K・P	美園町会いきいきサロン	ちょこっと茶屋の会
なかよしサロン		

ふれあい会食会

若草町内会	旭ヶ丘町内会	美不二町会
若草第二町内会	美園町会	桜ヶ丘町会
美園南町内会		

実施率 100.0% ( 7 / 7 )